

コミュニケーションボードについて

あなたに知ってほしいこと

コミュニケーションボードとは

障がいのある人の中には、話し言葉でのコミュニケーションが苦手な人もいます。しかし、絵や記号などわかりやすい方法があれば伝え合えることがあります。

「コミュニケーションボード」とは、話し言葉に代わるコミュニケーションツールです。言葉でうまく伝え合えないとき、またそのやりとりの際にこのコミュニケーションボードを差し出し、絵を指さしてもらいましょう。

コミュニケーションボードの使用法

1. 基本的な使い方

- 言葉でうまく伝え合えないとき、そのやりとりの際に「コミュニケーションボード」を指さしてもらいます。
- 「コミュニケーションボード」を使うときは、多くの言葉を使うことはやめ、多少ゆっくり見せて指さしできるよう待ちましょう。
- 「コミュニケーションボード」がわからなくても、実物や写真ならわかる場合があります。また、文字や絵を書くことができる人もいます。
- 指さしすることが困難な人には、こちらが指さして聞きましょう。

2. マニュアル

(1) こんな時、「コミュニケーションボード」の出番です

- 当事者が困っている→そわそわしている・ぶつぶつ言っている・困っている
- 対応する側が困っている→言葉の意味が通じない・何を言っているのかわからない・何かを伝えたいことはわかる

(2) 「コミュニケーションボード」を利用しましょう

- 「わたしの伝えたいこと」を見せ、絵を指さしてもらいます。
 - 指さした内容に答えましょう。
- 【※指させない場合】
- 「なに？」と問いかけて、指さしの見本を示しましょう。
 - 「トイレ？」「いたい？」のように、推測されることを指さして聞いてみます。
 - それでもうまく行かない場合は、一つずつ指さして聞いてみましょう。

わたしの伝えたいこと

What I want to communicate

トイレ



Restroom

いたい



Pain

のみたい



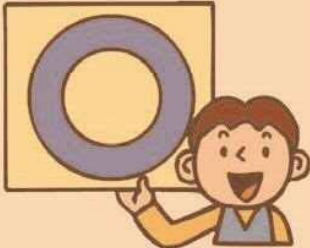
I am thirsty

たべたい



I am hungry

はい



Yes

いいえ



No

ほしい



I want it

やめて



Please stop

わからない



I don't understand

でんわ
してください



Please call